

## 《熱気球についての修正点と補足説明》

### 【修正点】

ゴンドラ内部の映像に出ている「予備ガスタンク」は『袋に収納したバーナー』です。  
「種火用ガスタンク」は、飛行のときに使う通常の『ガスタンク』です。

### 【補足説明】

「メインガスタンク」は『種火兼緊急噴射用ガスタンク』のことで、予備タンクの役目もします。燃料として使うガスは、『液化LPガス』で、どのタンクもいっぱいまでガスを入れると、タンク1本で20kg弱まで入れることができます。

バーナーや配管・ホースに「故障」が発生したときや、燃料タンクのLPガスが「残りわずか」になったときには、ガスの圧力が低くなり、球皮（＝風船部分）の中の気温を上げるために必要な火炎噴射ができなくなります。そこで、種火兼緊急噴射用ガスタンクの『緊急噴射』（※FireFly社製機体では、緊急噴射を『Fire 2』と呼びます。）を行い、不時着のとき、熱気球が落ちるスピードにブレーキをかけるために使ったりします。

緊急噴射は、メインタンクのハンドル弁を開けて、ほぼ液体のまま噴射するLPガスに種火を引火させて炎を出すという操作を行うため、通常の火炎噴射の青白い炎より、勢いが弱く、温度が低いだいたい色の大きな火柱のような炎での噴射になり、通常の噴射より燃費が悪くなります。

### 【用語の説明】

- ※種火…噴射するガスに火をつけるために、燃やし続ける小さい炎です。
- ※ガスタンク…ガスシリンダーとも言います。
- ※メインタンク…メインシリンダーとも言います。
- ※予備タンク…燃料が空のとき、緊急用に使うガスタンクです。